

# NEWSLETTER 26

GLOBAL MAPPING

## 新委員長挨拶

D. R. F. テーラー博士  
カールトン大学地理環境学部教授



地球地図国際運営委員会(ISCGM)委員長就任は光栄であり名誉に思います。ISCGM 初代委員長のジョン・エステス教授は高潔な理想家で、亡くなられて悲しく、寂しくなります。この挨拶文の作成にあたり、1996年2月につくばで開催された第1回ISCGM会合の冒頭の挨拶を興味深く読み直し、私は彼の地球環境問題に対する力強い言葉と情熱に心を打たれました。

8月のヨハネスブルグ・サミットが近づき、エステス先生が論じられた環境問題の意義と重要性はこれまでになく重要になっております。このような挑戦に直面するなかで、地球地図が中心的役割を担う地理基盤データの重要性については強調しすぎるということはありません。アジェンダ 21 文書の第40章はその要求を包括的に述べておりますが、進歩はあったものの、多くのことがやり残されております。また進歩は空間的な意味で非常に不公平であり、世界中の多くの場所で、おっおにして

最も必要とされている場所で、必要な資源と専門的な技術は、社会が直面している挑戦に対抗するには全く十分ではありません。更に貧困についての環境問題は、余剰に関する環境問題よりも注目度が低いままでした。

地球地図が中心的な要素である地理空間データは、環境の物理的、人間的両面で、データ構成の枠組みを提供する鍵の役目を果たし、その間の重要な接点となっております。

さらに、等しく重要なことは、社会経済の発展の挑戦に関し、地理空間データの利用の効率化のために必要とされる人的資本と社会資本の両方の開発です。地理情報処理技術はおもに産業社会やポスト産業社会のものですが、開発途上世界に貢献できる大きな可能性を持っております。この可能性の実現のさらなる促進は、各国固有の人材の開発を加速させるにちがひありません。人間は能力を「開発してもらう」ということはありません。人間は、自分で自己の能力を開発するのみです。

ISCGMの大きな強みは、その柱となる目標に向かって参加する国・地域数の多さであり、また多くの関係者の熱意と専門知識です。これはこの取り組みの素晴らしい未来を予告し、私はその一翼を担えることを誇りに思います。委員の方々、ひたむきな事務局、日本国の支援と多くの国際機関の善意に助けられ、地球地図は、地理情報処理が持つ可能性をさらに価値あるものへと変換する手助けとなることができます。

**「地球地図」は WSSD の “世界実施文書” に盛り込まれた**  
**地球地図国際運営委員会事務局**  
**政春 尋志**



持続可能な開発に関する世界サミット(WSSD)の第4回準備会合(PrepCom4)は、5月24日から6月7日までインドネシア国バリ島で開催されました。PrepCom4は、サミットに向けての最後の会合で、6月5日から7日までの閣僚級会合も含まれました。本会合の目的は、サミットの全参加国の合意としてサミットで採択し、持続可能な開発の実現のための実施計画を述べる最も重要な文書となる世界実施文書の本文をまとめることでした。また、本会合はサミットにおいて各国の長が発する政治宣言の骨子の準備も目的としました。

ISCGM関係者はPrepCom4に参加し、地球地図の重要性を周知させるために努力しました。その結果、「地球地図」という言葉が以下のとおり世界実施文書の草案に盛り込まれました([http://www.johannesburgsummit.org/html/documents/prepcom4docs/bali\\_documents/draft\\_plan\\_1206.pdf](http://www.johannesburgsummit.org/html/documents/prepcom4docs/bali_documents/draft_plan_1206.pdf))。PrepCom4では、世界実施文書の全文について合意するまでには至りませんでした。地球地図と地理情報に関するこれらの項は編集上の語句を除いて合意されました。

(仮訳)

114. 環境影響、土地利用、土地利用変化に関する質の高いデータを収集するため、衛星リモートセンシング、**地球地図**及び地理情報システムを含む地球観測技術の開発とより広範

困な利用を、「各界各層での以下の行動によることを含め」[以下の行動をもって]促進する。

(a) [合意]能力開発と、地上観測、衛星リモートセンシング及びその他の情報源からのデータの各国間での共有の必要性に鑑み、統合地理観測のための地球観測システムや研究プログラムの協力・調整を強化する。

(b) [合意]地球観測データの活発な交換といった有用なデータの共有を可能にする情報システムを開発する。

(c) [合意]**地球地図**のためのイニシアティブやパートナーシップを奨励する。

115. [合意]各国、ことに開発途上国を、以下の彼らの国家の努力において支援する。

(a) [合意]正確、長期、一貫性があり、信頼できるデータを収集する。

(b) [合意]データ収集や地上観測のさらなる改善のために衛星データやリモートセンシング技術を利用する。

(c) [合意]衛星リモートセンシング、衛星全地球測位、地図作成及び地理情報システムの技術の利用により地理情報を入手、調査し利用する。

ISCGMは、7月7日、PrepCom4の会場において、サイド・イベント「持続可能な開発のための地球地図及び地球観測のイニシアティブに関する国際パートナーシップ」を実施しました。本行事は、佐藤静雄国土交通省副大臣の「持続可能な開発と国際パートナーシップ」と題する基調講演で開会しました。引き続いて、そのほとんどがISCCGMの

委員である7人のパネリストが、地球地図の利用と地球地図に関する国際的・地域的パートナーシップについて発表を行いました。パネリストと彼らの発表の表題は以下の通りです。

「陸域観測技術衛星(ALOS)と地球地図への貢献」

宇宙開発事業団

ALOSプロジェクト、主任開発部長

浜崎 敬

「洪水監視とバングラデシュにおける監視のための地球地図」

バングラデシュ測量局局長

A H M シャヒドゥラ准将

「開発途上国における地球地図の利用」

南アフリカ測量・地図局局长

デレク・クラーク氏

「持続可能な開発と情報社会地理情報の役割」

国際地図学協会副会長

チェコ共和国マサリク大学助教授

ミラン・コネチニー博士

「持続可能な開発のための意思決定 ラテンアメリカにおける利用可能なコアデータの必要性和地球地図の貢献」

コロンビア、アグスティン・コダシ地理

院 (IGAC) 院長

サンティアゴ・ボレロ氏

「空間データ基盤整備、アフリカの活動」

ケニア測量局局長

ハガイ・ニャポラ氏

「アジア及びヨーロッパにおける地球地図の地域協力」

地球地図国際運営委員会事務局長

秋山 實

これらの発表に続いて、参加者とパネリストの間で熱心に討議が行われました。討議のテーマは、データ利用者の要求やアフリカ等その他のイニシアティブとの関連とパートナーシップ等でした。

閣僚級会合の対話形式の意見交換において、佐藤副大臣は、環境問題は人類の生存にとっての鍵となる問題であると提起し、地球地図のイニシアティブはこれらの問題に対する重要な貢献であると述べました。

WSSDの準備段階を通してこれらの取り組みや活動を行った結果、「地球地図」という言葉が世界実施文書の草案に盛り込まれることとなりました。遠路千里まで足を運び、地球地図サイド・イベントのパネリストを務めた方々を始めとして、地球地図を支援して下さったすべての方々に謝意を表します。

PrepCom4でのこのような成果をもって、ISCGMでは、地球地図をさらに促進し、知名度を高め、宣伝するためにヨハネスブルグ・サミットにおいてもサイド・イベントを開催する予定です。



## 地球地図データの公開

公開されたデータ

パナマ、3月28日

## 地球地図の参加状況

### EuroGeographics の地球地図への参加

EuroGeographics は従来から組織として地球地図に参加して EuroGlobalMap を作成中です。これまで、地球地図参加国のリストは国単位で表示していましたが、これではEuroGeographics を通じて地球地図に参加している国は表示できませんでした。EuroGeographics 代表のニック・ランド博士と地球地図国際運営委員会事務局長秋山實との間で検討した結果、6 月20 日、地球地図参加国の中に EuroGeographics 参加国のカテゴリーを設けるという結論に達しましたので EuroGeographics 参加国を次ページに紹介します。

### 地球地図の参加状況

2002 年 6 月 25 日現在

地球地図の参加国・地域数

117ヶ国・地域

地球地図への参加を検討している国・地域数

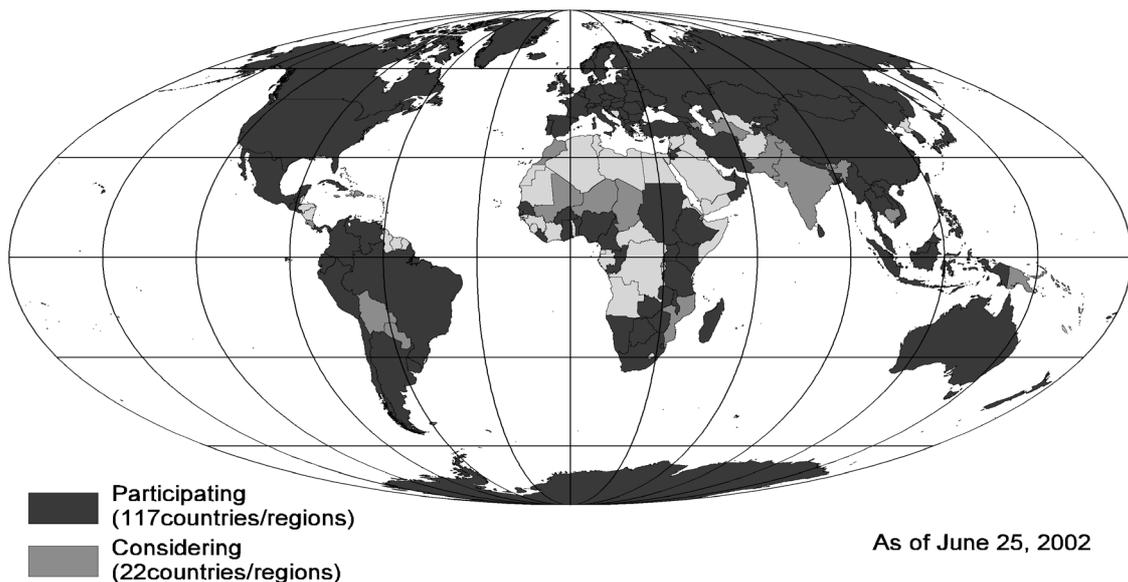
22ヶ国・地域

### 地球地図への最近の参加国

| 機関名               | 国名    | 参加年月日       |
|-------------------|-------|-------------|
| 測地・地図局            | ポーランド | 2002 年4月23日 |
| ベナン環境局及び<br>国立地理院 | ベナン   | 2002 年6月19日 |

### 地球地図プロジェクト への現在の参加状況

## Current Participation in Global Mapping Project



### ユーロ・グローバル・マップを通して参加するユーロ・ジオグラフィックス加盟国

| Country name     | Name of organization                                                                                                                                        |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ALBANIA          | Institut Studimit Tokave                                                                                                                                    |
| ARMENIA          | State Committee of the Real Property cadastre (SCC) of the Government of the Republic of Armenia                                                            |
| AUSTRIA          | Federal Office of Metrology and Surveying - (BEV)                                                                                                           |
| * BELARUS        | The State Committee on Land Resources Geodesy and Cartography                                                                                               |
| BELGIUM          | National Geographic Institute - Belgium                                                                                                                     |
| BULGARIA         | Ministry of Regional Development and Public Works                                                                                                           |
| CROATIA          | State Geodetic Administration of the Republic of Croatia - (DGU)                                                                                            |
| * CYPRUS         | Cyprus Department of Lands and Surveys - (DLS)                                                                                                              |
| CZECH REPUBLIC   | Czech Office for Surveying, Mapping and Cadastre                                                                                                            |
| DENMARK          | National Survey and Cadastre - Denmark - (KMS)                                                                                                              |
| ESTONIA          | Estonian National Land Board                                                                                                                                |
| FINLAND          | National Land Survey of Finland - (MML)                                                                                                                     |
| FINLAND          | Finnish Geodetic Institute                                                                                                                                  |
| FRANCE           | National Geographic Institute - France - (IGN-F)                                                                                                            |
| * GERMANY        | Federal Agency for Cartography and Geodesy - (BKG)<br>Working Committee of the Surveying Authorities of the States of the Federal Republic of Germany (AdV) |
| GREAT BRITAIN    | Ordnance Survey - (OS)                                                                                                                                      |
| * GREECE         | Hellenic Mapping & Cadastral Organisation (HEMCO)                                                                                                           |
| GREECE           | Hellenic Military Geographical Service - (HMGS)                                                                                                             |
| * HUNGARY        | Institute of Geodesy, Cartography and Remote Sensing - (FOMI)                                                                                               |
| ICELAND          | National Land Survey of Iceland - (LMI)                                                                                                                     |
| IRELAND          | Ordnance Survey Ireland - (OSI)                                                                                                                             |
| * ITALY          | Italian Military Geographic Institute - (IGM)                                                                                                               |
| * LATVIA         | State Land Service of the Republic of Latvia                                                                                                                |
| * LITHUANIA      | National Land Survey under the Ministry of Agriculture                                                                                                      |
| LUXEMBOURG       | Administration du Cadastre et de la Topographie                                                                                                             |
| * MOLDOVA        | State Agency for Land Relations and Cadastre of the Republic of Moldova                                                                                     |
| NORTHERN IRELAND | Ordnance Survey of Northern Ireland - (OSNI)                                                                                                                |
| NORWAY           | Norwegian Mapping Authority - (SK)                                                                                                                          |
| * POLAND         | Department of Cadastre, Geodesy and Cartography                                                                                                             |
| * PORTUGAL       | Portuguese Institute of Cartography and Cadastre - (IPCC)                                                                                                   |
| * ROMANIA        | National Office of Cadastre, Geodesy and Cartography                                                                                                        |
| * RUSSIA         | Federal Service of Geodesy and Cartography of Russia - (Roskartografia)                                                                                     |
| SLOVAKIA         | Geodesy, Cartography and Cadastre Authority of the Slovak Republic - (UGKK)                                                                                 |
| * SLOVENIA       | Surveying and Mapping Authority of the Republic of Slovenia - (GURS)                                                                                        |
| SPAIN            | National Geographic Institute of Spain - (CNIG)                                                                                                             |
| SWEDEN           | National Land Survey of Sweden - (NLS)                                                                                                                      |
| SWITZERLAND      | Federal Office of Topography - (BLT)                                                                                                                        |
| THE NETHERLANDS  | Topographical Service of the Netherlands - (TDN)                                                                                                            |
| TURKEY           | Ministry of National Defense, General Command of Mapping - (GCM)                                                                                            |
| * UKRAINE        | State Service of Geodesy, Cartography and Cadastre                                                                                                          |
| YUGOSLAVIA       | (no record)                                                                                                                                                 |

\* 地球地図に直接参加している国

## 地球地図 / GSDI グラント・プログラム

### 地球地図国際運営委員会事務局次長 カレン・D・クライン

地球地図/GSDI グラント・プログラムは、コロンビア国カルタヘナにおける 2001 年全地球空間データ基盤会議において、2001 年 5 月 23 日、理想家で、その理想像が地球地図や GSDI に盛り込まれる、先見性を持ち、ISCGM 委員長を務めたジョン・E “ジャック”・エステス先生を記念し立ち上げられました。

ESRI はソフトウェアと研修、支援の総合的なパッケージを内容とする 500 万米ドルを越える価値を持つプログラムを引き受けています。それぞれ 5 万米ドル相当の約 100 組のグラントが世界各国の国家空間データや国家空間データ基盤(NSDI)の構築を支援するために授与されます。また、本プログラムは GSDI 活動の発展のために地理空間データの共有を促進させます。2002 年 5 月 31 日現在、グラントは、世界中の 85 の国家地図作成機関もしくはそれに準

ずる省に授与されています。

グラントに含まれるものは以下のとおりです。

- \* ArcInfo 8 一式、ArcSDE 8-ArcSDE サーバー及び 5 接続ライセンス、ArcIMS -ArcIMS 標準版及び CPU1 個、Arc GIS Production Line TOOL Set(PLTS)一式を含む ArcGIS システム一式。
- \* ソフトウェアの維持管理 (テクニカルサポート及びアップグレード)、バーチャル・キャンパス・コース 5 コースの研修、及び国家基本図構築と刊行研修のための 5000 ドル相当のクレジット。

詳細は、グラントのホームページ <http://www.esri.com/gsd> にアクセスするか、クラウドディア・ルイス [cruiz@esri.com](mailto:cruiz@esri.com) まで連絡してください。

## 地球地図及び関連の会合予定

以下は地球地図及び関連の会合の予定です。関連の会合についての情報を歓迎します。

### 2002 年

- 8 月 6 日～9 月 5 日、ケニア、ナイロビ  
JICA GIS 技術セミナー
- 8 月 19 日～23 日、ケニア、ナイロビ  
地球地図セミナー・イン・ナイロビ
- 8 月 26 日～9 月 4 日  
南アフリカ、ヨハネスブルグ  
持続可能な開発のための世界サミット
- 9 月 16～19 日、ハンガリー、ブダペスト  
第 5 回 GSDI 会議
- 9 月 20 日、ハンガリー、ブダペスト  
第 9 回 ISCGM 会合
- 9 月 29 日～10 月 30 日、カナダ、モントリオール  
CODATA2002 会議
- 10 月または 11 月、フィリピン  
PCGIAP 理事会会合

- 11 月 14 日～15 日、韓国、慶州  
第 15 回 ISO/TC211 本会議

### 2003 年

- 5 月 22 日～23 日、スイス  
第 16 回 ISO/TC211 本会議
- 7 月 12 日～13 日、日本、沖縄  
地球地図フォーラム 2003 in 沖縄
- 7 月 20 日～27 日、英国、ケンブリッジ  
ケンブリッジ会議
- 7 月 28 日、英国、ケンブリッジ (予定)  
第 10 回 ISCGM 会合
- 8 月 10 日～16 日、南アフリカ、ダーバン  
第 21 回国際地図学協会会議
- 10 月または 11 月、ドイツ  
第 17 回 ISO/TC211 本会議

編集、発行：地球地図国際運営委員会事務局  
連絡先：〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番 国土地理院  
Tel: 0298-64-6910 Fax: 0298-64-6923  
ホームページ：<http://www.iscgm.org/>  
E-mail：[sec@iscgm.org](mailto:sec@iscgm.org)